

## 6月24日：一部の大型株に買いが入り、VN指数は反発

VN指数は前日終値を挟んで一進一退の値動きとなった。引き続き売り物が出たが、最終的には反発してこの日の取引を終えた。

ホーチミン市場のVN指数は0.21% (2.85ポイント) 高の1,379.72ポイントだった。しかし値下がり銘柄数 (274) が値上がり銘柄数 (112) を上回った。

また売買高が5億9,170万株、売買代金が約18兆5,000億ドン (6億7,680万ドル) とマーケットの流動性は保たれた。

マーケット全体で売りが続いているにもかかわらず、一部の大型株に買いが入ったことでVN指数は反発した。

VN30指数は0.17%安の1,486.96ポイントだった。同指数採用銘柄のうち、16銘柄が下落、12銘柄が上昇、2銘柄は変わらずだった。

ベトナムゴム工業グループ (GVR) は+3.88%と上昇率でトップ。

不動産、銀行、公益関連株がそれに続いた。個別ではノブランド不動産投資グループ (NVL)、ベトコムバンク (VCB)、ペトロベトナムガス (GAS)、ビンホームズ (VHM) が買われた。それらの上昇率は0.72~2.68%だった。

1%を超える上昇となった銘柄には、サイゴンビール・アルコール飲料 (SAB) +1%、ヴィエティンバンク (CTG) +1.33%、アジアコマーシャル銀行 (ACB) +1.12%、ビンコムリテール (VRE) +1.59%が含まれた。

また一方で大型株の多くが売られ、VN 30指数は振るわなかった。ホアファットグループ (HPG) は1.56%安と同指数の中で下落率トップ。ビナムミルク (VNM) -1.44%、サコムバンク (STB) -2.52%もそれぞれ下げた。

ハノイ市場のHNX指数は0.23%安の315.08ポイントと続落。HNX指数は0.27%安の496.74ポイントで取引を終えた。

売買高は約9,300万株で、売買代金は2兆1,600億ドンだった。

「マーケットが現在の揺り戻しや横ばいの値動きから抜け出すためには、流動性を高め、大きな値動きのある取引が必要だ」（サイゴンハノイ証券のアナリスト）

その反面、外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて1,775億6,000万ドンを買い越した。そのうち、ホーチミン市場で1,826億7,000万ドンを買い越し、ハノイ市場で51億1,000万ドンを売り越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。